

子育て男性のための講習会 「つくしのこでパパも遊ぼう」を開催しました

つくしのこ主催の講習会(令和7年8月)に、11組の親子が参加しました。前半は、0歳児にとって大切な遊びのポイントを聞きながら、親子で触れ合い遊び、わらべうたを楽しみました。後半は、子育てについて心がけていることを情報交換しました。「笑顔」「たくさん話しかける」「あいさつをすること」など、たくさんの意見を聞くことができました。また、手形を使ったうちわづくりでは「一緒にペッタンしようね」など子どもに声をかけながら、それぞれ素敵なお作品ができあがりました。

後日、参加者の家族からは「講習会の内容や触れ合い遊びの実践を私に見せてくれました」「親子手形の作品を部屋に飾りました」「夫と子どもが講習会に参加している間、久しぶりにカフェでコーヒーを飲むことができました」など喜びの声が寄せられました。

【参加者の感想】

- ・普段できない遊びを経験できて良かった。
- ・息子と二人ででかけることができた。
- ・いろんな人と話せて良かった。
- ・手形を使ったうちわの製作がとても良かった。



▲一緒に手形をペッタン



▲うちわを作りました



▲触れ合い遊び

子育てのひろば No.347

指先を鍛えよう

指先の器用さのことを巧緻性(こうちせい)と呼びます。料理を作ったり何かを操作したりと、仕事や家事をするときも必要となる巧緻性は、子どもだけでなく、大人になっても生活に欠かせないものです。

巧緻性を高めていくには、小さいころから少しづつ指先を使う経験を積むことが必要です。しかし、筆や鉛筆を小さいころから持たせる必要はありません。遊びや生活の中で指先を使う経験をたくさんすれば、自然と育っていきます。例えば、おやつの時間はアメの包み紙を開ける、ストローを伸ばす、お菓子の袋を開けるなど、指先をたくさん使える時間です。はじめは難しい

ので途中まで開けたり、切り込みを入れてあげたりして、保護者が少し手伝ってあげると良いですね。まずは指先の動かし方と達成感を味わえるようにし、徐々に子どもができる範囲を増やしていく、最後の達成感を味わえると、やる気につながっていくでしょう。

指先を使う遊びは、子どもの成長や発達に欠かせない重要な要素といえます。日常の中にも指先を器用にしてくれる動きはあふれています。普段の生活や遊びの中で指先をたくさん使いましょう。

問 二日市保育所

☎ (922)3344

お誕生日おめでとう！の申込方法

★申込方法

▷市公式LINEメニュー画面の「市の情報」→「広報ちくしの」から申し込み

▷インターネットの申し込みフォームから申し込み(要ユーザー登録)

HP <https://user-web.line-smartform.com/login/city-chikushino>

★定員24人(超えた場合は抽選) ★4月生まれは、2月1日(日)~15日(日)に受け付けます。

★新しく3歳になる子どもまでが対象です。

申込方法など詳細は市ホームページを確認してください。 ID 1275

問 秘書広報課



▲申し込みフォーム



LINEは
ココから申し込み！